

2026 年度

入学試験要項

編入学試験

愛知淑徳大学受験生応援サイト
「ASNAVI」で最新の情報を
確認してください。

出願前、試験前日、試験当日は
必ず確認してください。

<https://www.aasa.ac.jp/welcome/>

愛知淑徳大学 ASNAVI 検索



■アドミッション・ポリシー（入学受入方針）

愛知淑徳大学は、「違いを共に生きる」を理念として掲げ、性別、国籍、年齢、異なった能力など、さまざまな違いをもつ者が共に学ぶ環境づくりに努めている。その環境の中で繰り広げられる多彩な教育・研究活動を通じて、広い視野と深い思考力を身につけ、時々刻々と変化する現象に対する洞察力と時代を先取りする先見性を獲得し、さらに、新たな価値の発見とその普及のための優れた実践力が養成されている。このような伝統を継承し、さらに推し進めるための学生受け入れ方針として、多様な入試制度を導入している。

編入学試験は、他大学などで培った基礎的学力に加え、各専門分野の基礎的技術、基本的知識をすでに十分修得しており、本学において一層高い専門知識と技術の習得をめざしている者を対象とした入試である。

個人情報の取り扱いについて

愛知淑徳大学では、「個人情報の保護に関する法律」に基づいて、個人情報を厳重に管理します。

出願に際してお知らせいただいた氏名、住所、電話番号、その他の個人情報は、志願者への連絡や、入学試験用データとして利用します。これらの個人情報は、愛知淑徳大学に入学された後、入学用データとして、教学および大学生生活全般に関する業務、ならびにこれらに付随する業務をおこなうために利用します。また、愛知淑徳大学関連団体がおこなう同様の業務のためにも利用します。

なお、これらの業務は、愛知淑徳大学および愛知淑徳大学関連団体より当該業務の委託を受けた業者（以下、「受託業者」といいます）においておこなう場合があります。この業務委託にあたり、受託業者に対して、委託業務を遂行するために必要となる範囲で、お知らせいただいた個人情報の全部または一部を提供することがあります。あらかじめご了承ください。

目次

学科・専攻別アドミッション・ポリシー	1
1 募集人員	6
2 入試日程	6
3 出願資格	7
4 事前の出願資格確認	9
5 出願書類	13
6 入学検定料	13
7 インターネット出願	
出願の流れ	14
1. 事前準備	15
2. マイページの作成	16
3. 出願登録	16
4. 「インターネット出願確認票」等の印刷	16
5. 入学検定料の納入	17
6. 出願書類の郵送	18
7. 受験票の取得	18
8 選抜方法・配点	19
9 受験上の注意	19
10 試験会場（星が丘キャンパス）案内	21
11 合格発表	21
12 入学手続	22
13 編入の単位認定と履修	23
14 成績開示	24
15 学納金	25
16 奨学金	28
17 2025 年度 入試結果	29
18 過去の入試問題について	30

不正行為の取り扱いについて

入試に関する生成 AI (ChatGPT など) の取り扱いについて

文学部

●国文学科

①学生に期待すること

国語・国文学の研究を通じて、総合的な思考力を身につけるとともに知性・感性を磨き、社会に貢献できる人材となることを期待する。

②学生募集に際して重視すること

書物と主体的に向かい合う姿勢や、自身の意見を論理的な文章によって書き表す能力を有すること。また、その前提となる基本的な文章読解力や語彙力が身に付いていることを重視する。

③入学前学習として推奨すること

図書館などを大いに活用し、書物の世界に慣れ親しむこと。また、読後に要点や感想などを書き出してまとめ、思考力と文章力を養うことも推奨する。

教育学部

●教育学科

教育学部では、教員としての専門的知識、総合力、実践力を身に付け、社会や教育界の発展に寄与したいと考えている意欲的な学生の入学を求める。

①学生に期待すること

小学校又は特別支援学校の教員、中学校・高等学校教員(英語)として活躍するために、必要な専門的知識と技能の習得に積極的に取り組むことが求められる。また、教育が直面する諸問題に対応する力を備え、豊かな人間性と確かな実践力を身に付けた教員を目指して努力することを期待する。

②学生募集に際して重視すること

将来、小学校教員又は特別支援学校教員、中学校・高等学校教員(英語)として、学校教育に携わりたいという強い意欲があり、教育に対する情熱と責任感を有することを重視する。また、自ら進んで他者と協働して課題に取り組むコミュニケーション能力を備えていることも必要である。

③入学前学習として推奨すること

教師として幅広い分野での基本的な学力が必要となるため、高等学校までに学習する教科・科目の基礎的知識と技能を着実に習得しておくことが不可欠である。また、教育問題や教育活動に関心を向けることも重要である。

人間情報学部

●人間情報学科 感性工学専攻

①学生に期待すること

情報デザイン制作と情報システム制作において、人の感性に関する知識と AI(人工知能)技術を活用することにより、AI 時代の情報化社会において STEAM 人材*として活躍する意欲を持つことを期待する。

※STEAM 人材とは、科学的でありつつも、創造的な発想で技術開発や問題解決のできる人材を指す。

②学生募集に際して重視すること

- ・人の感性やユニバーサルデザインの視点から効果的な情報サービス、製品、空間をデザインしたり、人にやさしく豊かなデジタルライフを提案・創造したりすることに関心を持っていること。
- ・AI や IoT、ビッグデータ、ロボット制御の技術を活用してアプリを開発したり、情報システムを構築したりすることに関心を持っていること。
- ・これらの内容について記載された文章や図表を理解できる論理的・数理的な思考力と基礎学力を身に付けていること。

③入学前学習として推奨すること

- ・感性やユニバーサルデザイン、AI、IoT、ビッグデータ、ロボット等のキーワードを含む記事、ならびにそれらが情報サービス、製品、空間のデザインやアプリ・情報システムに活用されている事例について記載された記事に日頃から目を通すこと。
- ・これらの記事の論旨を要約できる力や主張の根拠の妥当性を的確に指摘できる力、ならびに記事内に記された図表が示す意味を読み取る力の向上に努めること。

●人間情報学科 データサイエンス専攻

①学生に期待すること

統計学に基づく伝統的なデータ分析法から機械学習等の AI(人工知能)を駆使した最新のデータ分析法までを修得することで、AI 時代の情報化社会において、データ分析のスペシャリストとして活躍する意欲を持つことを期待する。

②学生募集に際して重視すること

- ・データ分析により、人の知覚や感情、行動、運動、性格等の“人”を理解することに関心を持っていること。
- ・データ分析の知識と技術をマーケティングやエンターテインメント、スポーツ、流通、情報通信、健康、福祉等の多岐に渡る分野に応用することに関心を持っていること。
- ・これらの内容について記載された図表や文章を読み解く論理的・数理的な思考力と基礎学力を身に付けていること。

③入学前学習として推奨すること

- ・新聞、雑誌、WEB ページなどに記載された図表を含む記事や広告等に日頃から目を通すこと。
- ・記事や広告等に記載された図表の示す意味や図表を表示する効果、図表とその説明文章との関係性を読み解く力、ならびに読み取った内容を要約して文章化できる力の向上に努めること。

心理学部

●心理学科

①学生に期待すること

心理学部では、人間に関わるさまざまな現象に関心を持ち、論理的かつ客観的に分析していく姿勢が求められる。また、人の心の問題について自分なりの考えを持っているだけでなく、異なる意見を持つ人々と議論しながら考えをまとめていくことも必要となる。こうした学修活動に積極的に取り組むことが期待される。

②学生募集に際して重視すること

心理学部では、自らおこなう心理学の研究を卒業論文という形でまとめる。そのためには、図表などからデータを読み取り、それに基づいて客観的に考え、まとめる力が必要である。また、自分の考えを主張するだけでなく、多角的な視点をふまえた上で他者と議論するコミュニケーションの力も必要となる。さらに、本学心理学部で学ぶことができる内容についても、偏りなく把握しておくことが重要である。

③入学前学習として推奨すること

心理学は、文系・理系といった枠にとらわれない。文章理解力や数学的な分析力はもとより、人間の生物学的な特徴の理解も必要であるし、社会的な視点も必要である。つまり、高校で学ぶ主要教科の基礎学力をバランスよく確実に身につけておく必要がある。そのため、受験のための教科以外についても、高校までの学習内容を復習しておくことが大切である。

創造表現学部

創造表現学部では、それぞれの専攻の学修を通じて「表現力」「創造力」「コミュニケーション力」を高めることによって、豊かな自己表現ができ、実社会の諸問題にも適切な対処ができる人材の育成を目標にしている。この目標を達成するために、入学者には以下の点を期待する。

●創造表現学科 創作表現専攻

①学生に期待すること

知的財産としての言語文化・表象文化についての興味関心と、それについて深く学ぼうとする意欲とを抱いて入学してほしい。

②学生募集に際して重視すること

本専攻のカリキュラムを理解し、文芸を中心とした創造的な表現活動に携わり得る知識と実践的な表現技術とを修めるのに必要な基礎力を有していること。

③入学前学習として推奨すること

高等学校までの学習範囲の知識・技能の修得。特に、国語の学習や読書を通して、文章を筋道立て

て読み取る読解力と、自分の考えを正しく明確に表すことのできる表現力を磨いてほしい。

●創造表現学科 メディアプロデュース専攻

①学生に期待すること

現代のメディア社会の課題に関心を持ち、マスメディアやソーシャルメディアの役割を知ること。そうした社会のなかで、デジタルメディアや映像、情報デザインなどを通じた表現に取り組み、創造的な価値をもたらすクリエイティブな人を目指すこと。

②学生募集に際して重視すること

基礎的な読解力や作文能力、他者とコラボレーションできるコミュニケーション能力、ビジュアル、写真、映像などを用いた表現力を持つことが望ましい。あるいは、これらの能力の向上に前向きであること。

③入学前学習として推奨すること

- ・映像作品や、身の回りにあるデザインなどに興味を持ち、それらがどのように制作されているのか、自ら調べて情報収集する。
- ・社会や表現活動の動向を多角的に見る習慣を身につける。具体的には、関連分野の読書や報道番組の視聴、芸術作品の鑑賞や批評に触れること。

建築学部

建築学部は、建築とその内部空間、建築群を含む都市と地域、周囲環境との関わり方を考え、国や地域の歴史や文化、風土・気候などの多様な観点から将来目指すべき持続可能な建築・都市の未来像を構想する。建築・まちづくり、住居・インテリアデザインを学術的・実践的に学ぶことは、様々な学問領域を横断的・縦断的に学び応用することでもあることから、従来の思考の枠組みや自身の無意識の限界を自ら越えようという意欲と熱意を持つ学生の入学を期待する。

●建築学科 建築・まちづくり専攻

①学生に期待すること

- ・建築・まちづくりに限らず、様々なモノやコトに対する好奇心と興味・関心を持つこと。
- ・知らないことや知っているつもりのことを、自身の頭と身体を使って理解しようと心掛けること。
- ・建築やまちづくりを学ぶことを通して自然・環境・工学・芸術・歴史・文化・風土などのつながりを意識し、部分と全体とを同時に見る広い視野を持てるように心掛けること。

②学生募集に際して重視すること

- ・建築や環境・都市の機能や文化など有形無形のモノやコトを創造することに深い関心と高い情熱を持っていること。
- ・建築空間を目的に応じて機能的にしつつ生理的・心理的に心地良くすることに深い関心と高

い情熱を持っていること。

- ・既存の建築と周囲の都市・環境に新たな機能と価値を加え、歴史・文化・伝統を継承し再生・発展させることに深い関心と高い情熱を持っていること。
- ③入学前学習として推奨すること
- ・建築やまちづくり等にとらわれず、幅広い分野の書籍・文献等をたくさん読み多様な世界に触れること。
 - ・年代や場所にとらわれず様々な地域の街並みや建築を訪れ、それらの全体や細部・内部、周囲環境を見るとともに五感で建築空間の環境を感じ取ること。
 - ・建築学は文系・理系などの学問分野の枠にとらわれず、様々な分野の学問を学び多様な視点を持つことが求められる。このことを踏まえて、国語や数学における文章理解力や数理的的分析力のみならず、環境や歴史、地域・社会への関心など、高校で学ぶ教科・科目の基礎的学力をバランスよく習得すること。

●建築学科 住居・インテリアデザイン専攻

①学生に期待すること

- ・住居・インテリアデザインに限らず、様々なモノやコトに対する好奇心と興味・関心を持つこと。
- ・知らないことや知っているつもりのことを、自身の頭と身体を使って理解しようと心掛けること。
- ・住居・インテリアデザインを学ぶことを通して自然・環境・芸術・歴史・文化・風土などのつながりを意識し、部分と全体とを同時に見る広い視野を持てるように心掛けること。

②学生募集に際して重視すること

- ・住居の形態や住まい方、空間内部の機能や視覚的デザインなど有形無形のモノやコトを創造することに深い関心と高い情熱を持っていること。
- ・住居空間を目的や住まい方に応じて機能的にしつつ視覚的・心理的に心地良くすることに深い関心と高い情熱を持っていること。
- ・既存建築の内部空間に新たな機能と価値を加え、歴史・文化・伝統を継承しつつ再生・発展させることに深い関心と高い情熱を持っていること。

③入学前学習として推奨すること

- ・住居やインテリアデザイン等にとらわれず、幅広い分野の書籍・文献等をたくさん読み多様な世界に触れること。
- ・様々な地域の街並みや建築を訪れ、それらの全体や細部・内部、周囲環境を見るとともに五感で建築空間の環境を感じ取ること。
- ・建築学は文系・理系などの学問分野の枠にとらわれず、様々な分野の学問を学び多様な視点を持つことが求められる。このことを踏まえて、国語や数学における文章理解力や数理的的分析力のみならず、環境や歴史地域・社会への関心など、高校で学ぶ教科・科目の基礎的学力をバランスよく習得すること。

健康医療科学部

本学部は、言語聴覚学・言語聴覚障害学、視覚科学・視能学、理学療法学・リハビリテーション療法学、臨床検査学・臨床病態学、救急医療・救急救命学の専門家としての医療人の養成、心身の健康に関する広範な知識をもった教員を含めた生涯健康社会のリーダーの育成、医療や健康科学の現場で活躍する人材の養成を目指している。

上記の目標を達成するために、入学者には次の4点を期待する。

- ①医療を含め、健康維持や健康回復に関する高い関心を有し、将来、こうした分野の専門家として社会貢献する強い意思を有していること。
- ②病気や障がいのある人、高齢者などに対して、「違いを共に生きる」の理念に基づき、尊敬と人権尊重の精神を有し、日常的な生活においても、こうした精神を実践できるような人間性を有していること。
- ③新しい知識や技能の習得に積極的で勉強熱心であり、科学的思考力、論理的思考力、実践的行動力を習得しているか、それらを新たに習得することに積極的であること。
- ④人間関係において、適切な自尊感情を有するとともに、他者を尊重し、良好な関係を築くことのできるコミュニケーション能力を習得していること。あるいは、それらを新たに向上させることに積極的であること。

●スポーツ・健康医科学科 スポーツ・健康科学専攻

①学生に期待すること

本専攻は、体と心の健康に関する広範な知識を持った生涯健康社会のリーダーの育成を目指している。健康や運動に関する知識だけでなく、社会の動きにも興味を持ち積極的に学ぶ姿勢を持つことを期待する。

②学生募集に際して重視すること

心身の健康に関して学ぶ姿勢、社会情勢についての広い関心を持っていること、さらに、自らの健康だけではなく社会に資するために、他者への配慮を心がけることや円滑なコミュニケーションをはかることも重要だと考える。

③入学前学習として推奨すること

教科書的な知識だけでなく、書籍やマスメディアからも広く健康・スポーツ・社会に関して学んでおくことが望まれる。

食健康科学部

本学部は、食健康科学の知識を有し、「食」と「栄養」の専門家として食品分野や健康分野の現場で活躍する人材の養成を目指している。この目標を達成するために、入学者には次の点を期待する。

①学生に期待すること

健康維持や疾病予防における食と栄養の係わりに

関して高い関心を有し、将来、「食」と「栄養」の専門家として社会に貢献する強い意志を有していること。

②学生募集に際して重視すること

「食」と「栄養」に関する新しい知識や技能の修得に積極的で向学心が高く、科学的思考力、論理的思考力を修得することに積極的であること。

③入学前学習として推奨すること

人間関係において、他者を尊重し、良好な関係を築くことのできるコミュニケーション能力を有していること、あるいは、それらを修得し、向上させることに積極的であること。

●食創造科学科

①学生に期待すること

食健康科学に関する学修・研究を通して科学的思考と問題解決の方法論を修得すると共に、創造性や先見性を有した食創造力を持って食産業、健康産業に貢献する人材となることを期待する。

②学生募集に際して重視すること

「食」と「栄養」に関する専門知識と創造性に関して高い関心と真摯に学ぶ姿勢を有し、「食」や「健康」に関連する様々な事象に対して向学心を持っていること、さらに、社会に資するために他者への配慮を心掛けることや円滑なコミュニケーション能力を持っていることも重要である。

③入学前学習として推奨すること

高校卒業レベルの基礎的な知識だけでなく、図書や、雑誌、新聞記事などのマスメディアから、「食」、「栄養」、「健康」に関する分野の知識を意欲的に吸収し、自ら考える習慣を身に付けていることが望まれる。

福祉貢献学部

福祉貢献学部は、福祉マインドを培い、福祉的な思考と実践力を身に付け、社会福祉、及び子ども福祉分野で活躍したいと希望する学生を求める。

●福祉貢献学科 社会福祉専攻

①学生に期待すること

社会福祉の仕事に関心をもち、人間や社会について広い視野に立って学ぶとともに、福祉現場での実習や地域活動に主体的に取り組み、実践力を育てることを期待する。

②学生募集に際して重視すること

様々な人々と関わり援助することに前向きに取り組む姿勢や肯定的な人間関係を育む能力を有すること。また、大学での学びの基盤となる高校等での学習習慣と基礎学力が養われていることを重視する。

③入学前学習として奨励すること

社会福祉の専門職は、人の生活に直面しなければならない。メディア等を通じて生活問題や社会福祉の

動向に関心をもち、考える習慣を身につける。また、様々な活動に参加し、主体的な行動力と安定した社会性を培う。

交流文化学部

●交流文化学科 ランゲージ専攻

①学生に期待すること

ランゲージ専攻では、しっかりとした日本語力を基礎に様々な言語や文化の知識そしてコミュニケーション能力の修得を通して、国際社会で活躍したいと考える学生の入学を期待している。

②学生募集に際して重視すること

次のことに関心をもち、個性を伸ばし、自らを磨いて国際協力そして社会の発展に貢献していこうとする意欲のある人を歓迎する。

(1) 幅広い視野から異文化を理解する力を身につけたい人。

(2) 文化に関する知識、および多言語活用能力をはじめとする異文化コミュニケーション能力の向上を目指す人。

(3) 外国語を使用したスピーチ、ライティング、演劇など自己表現、また言語を教育する力を身につけたい人。

③入学前学習として推奨すること

(1) 世界の言語・文化への関心をもち、自らの基礎的なコミュニケーション能力の向上に努める。

(2) 言葉を使用して自らを表現する一方、他の人の自己表現から学ぶ態度を養う。

(3) 自らの母語である日本語の知識とスキルを伸ばす。

(4) お互いを理解・尊重し合い、他人の喜びを共に喜び合える態度を養う。

ビジネス学部

●ビジネス学科

ビジネス学部は、国内外のビジネスの現場で能力を発揮することを通じて、社会の発展に貢献する人材を育てる。1) さまざまな職種、業種で役に立つ知識やスキル、2) 直面する問題を解決するための論理的な思考力や判断力、3) 組織の目標を達成するための協調性やリーダーシップ——これらを身につけたい人の入学を求める。

①学生に期待すること

ビジネス学部は、グループワーク、産学連携プロジェクトなどアクティブラーニングによる実践的な授業を多く開講しているほか、国内外のインターンシップ研修などもカリキュラムに取り入れている。このような授業に参画することを通じて、ビジネスの現場で必要となるさまざまな能力を身につけたいと考える人を歓迎する。

②学生募集に際して重視すること

ビジネス学部では、ビジネスの現場で能力を発揮する人材になりたいという積極的な姿勢に加

え、アクティブラーニングにおいて必要となる行動力、多様な考え方と向き合うコミュニケーション能力を重視する。

③入学前学習として推奨すること

政治・経済など国内外の動きについて、新聞・テレビ・インターネットなどを通じて広く関心を持つことが大事である。また、重要なニュースや国際情勢については、自分の考えや意見を持つように心がける。国語・英語・数学など主要科目の基礎学力は学修の基盤となる。

グローバル・コミュニケーション学部

●グローバル・コミュニケーション学科

グローバル・コミュニケーション学部は、英語で考え、英語で情報を発信し、行動する、人・地域・世界の架け橋となる「地球市民」の育成を目標とした学部であり、「実用的な英語コミュニケーション能力を身に付けたい」「英語を使った仕事に就きたい」という学生を求める。

①学生に期待すること

グローバル社会に求められる地球市民になるためには、高度な英語コミュニケーション能力とともに、幅広い教養も必要である。学生には、世界と日本の社会や文化、人間コミュニケーション、グローバルな課題などに関心を持ち積極的に学ぶ姿勢を期待する。

②学生募集に際して重視すること

高度なコミュニケーション能力は、受動的な姿勢で身に付くものではない。すべての学部専門科目が英語のみで開講されるAll Englishの環境のもと、主体的に学ぼうとする意欲と姿勢を重視する。

③入学前学習として推奨すること

高等学校までの英語の学習内容を十分に理解し、定着させておくことが、大学入学後の高度で実践的な英語コミュニケーション能力修得の基礎となる。新聞・書籍・インターネット・テレビなどを通じて、グローバルなトピックに常に関心を向けることも重要である。

1 募集人員

学部	学科・専攻		募集人員			
			2 年次		3 年次	
			一般	特別	一般	特別
文学部	国文学科		若干名		若干名	
教育学部	教育学科		若干名		—	
人間情報学部	人間情報学科	感性工学専攻	若干名		若干名	
		データサイエンス専攻	若干名		若干名	
		数学・情報教員養成専攻	—		—	
心理学部	心理学科		若干名		若干名	
創造表現学部	創造表現学科	創作表現専攻	若干名		若干名	
		メディアプロデュース専攻	若干名		若干名	
建築学部	建築学科	建築・まちづくり専攻	若干名		—	
		住居・インテリアデザイン専攻	若干名		—	
健康医療科学部	医療貢献学科	言語聴覚学専攻	—		—	
		視覚科学専攻	—		—	
		理学療法学専攻	—		—	
		臨床検査学専攻	—		—	
	スポーツ・健康医科学科	スポーツ・健康科学専攻	若干名		若干名	
		救急救命学専攻	—		—	
食健康科学部	健康栄養学科		—		—	
	食創造科学科		若干名		若干名	
福祉貢献学部	福祉貢献学科	社会福祉専攻	若干名		若干名	
		子ども福祉専攻	—		—	
交流文化学部	交流文化学科	ランゲージ専攻	若干名		若干名	
		観光専攻	—		—	
ビジネス学部	ビジネス学科		若干名		若干名	
グローバル・コミュニケーション学部	グローバル・コミュニケーション学科		若干名		若干名	

※表中の「—」については、募集しません。

2 入試日程

事前の出願資格確認期限	2025 年 10 月 3 日 (金) 締切	
出願期間	2025 年 11 月 4 日 (火)～11 月 10 日 (月) 締切日消印有効	
受験票の取得	2025 年 11 月 17 日 (月) 10:00～ (P. 18 参照)	
試験日	2025 年 11 月 29 日 (土)	
試験会場	星が丘キャンパス (P. 21 参照)	
合格発表日	2025 年 12 月 9 日 (火) インターネットによる合否照会のみ (合格通知書は発送しません) 〈合否照会可能期間 (P. 21 参照)〉 2025 年 12 月 9 日 (火) 10:00～12 月 15 日 (月) 23:59	
合格通知書/振込依頼票/ 入学手続要項の印刷	2025 年 12 月 9 日 (火) 10:00～2026 年 3 月 31 日 (火) 23:59 ※郵送はしませんので、各自印刷してください (P. 22 参照)。	
入学手続時納入金 締切日	第 1 次手続	2025 年 12 月 16 日 (火) ※マイページから振込依頼票を印刷し、使用してください。
	第 2 次手続	2026 年 3 月 10 日 (火) ※マイページから振込依頼票を印刷し、使用してください。

※編入学試験と同日に実施される「グローバル入試」「特別選抜入試」には出願できません。

※留学ビザの手続きが必要な外国人留学生は、入学手続時納入金の締切日が異なりますので、P.22 を参照してください。

3 出願資格

アドミッション・ポリシーは、表紙裏面とP.1～P.5を参照してください（一般、特別共通）。

【一般（2年次・3年次）】

本学のアドミッション・ポリシーを十分に理解し、次の1～6のいずれかに該当する者（2026年3月31日までに該当する見込みの者を含む）

- 1 学士の学位を有する者
- 2 短期大学または高等専門学校を卒業した者
- 3 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上であること、その他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る）を修了した者
- 4 高等学校の専攻科の課程（修業年限が2年以上であること、その他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る）を修了した者（ただし、学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る）
- 5 外国において、学校教育における14年以上の課程（日本における通常の課程による学校教育期間を含む）を修了した者
- 6 本学以外の大学に、2年次編入は1年以上、3年次編入は2年以上在学し（休学期間を除く）、2年次編入は30単位以上、3年次編入は60単位以上修得した者

注1) 上記1～4および6については日本の教育施設に限る。

注2) 本学卒業生は、卒業時の同一学部・学科への学士入学を原則として認めない。

【特別・社会人（2年次・3年次）】

本学のアドミッション・ポリシーを十分に理解し、次の1～6のいずれかに該当する者（社会人としての職歴は問わない）で、出願時に大学・短期大学・高等専門学校等に在籍していない者

- 1 学士の学位を有する者で、学位取得後、2026年4月1日現在、社会人としての経験を2年以上有している者
- 2 短期大学または高等専門学校を卒業後、2026年4月1日現在、社会人としての経験を2年以上有している者
- 3 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上であること、その他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る）を修了後、2026年4月1日現在、社会人としての経験を2年以上有している者
- 4 高等学校の専攻科の課程（修業年限が2年以上であること、その他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る）を修了後、2026年4月1日現在、社会人としての経験を2年以上有している者（ただし、学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る）
- 5 外国において、学校教育における14年以上の課程（日本における通常の課程による学校教育期間を含む）を修了した者で、2026年4月1日現在、社会人としての経験を2年以上有している者
- 6 大学に2年以上（休学期間を除く）在学し、60単位以上を修得後、2026年4月1日現在、社会人としての経験を2年以上有している者

注1) 上記1～4および6については日本の教育施設に限る。

注2) 本学卒業生は、卒業時の同一学部・学科への学士入学を原則として認めない。

【特別・外国人留学生（2年次・3年次）】

本学のアドミッション・ポリシーを十分に理解し、次の1、2のいずれかに該当する者で、かつア、イを満たす者

- 1 外国において、学校教育における14年以上の課程を修了した者および2026年3月31日までに修了見込みの者
- 2 本学が個別の入学資格審査により、学校教育における14年以上の課程を修了した者と同等以上の学力があると認められる者および2026年3月31日までにこれに該当する見込みのある者（2026年3月31日までに20歳に達する者）
- ア 外国の国籍を有する者（日本の「永住者」および「特別永住者」として許可された者を除く）
- イ (独)国際交流基金と(公財)日本国際教育支援協会が主催する「日本語能力試験(JLPT)」N1に合格または(独)日本学生支援機構が実施する「日本留学試験(EJU)」※の「日本語」科目において読解、聴解・聴読解250点以上および記述35点以上得点した者

※対象とする「日本留学試験」は2024年度第2回（11月実施）、2025年度第1回（6月実施）です。

入学時には「留学」ビザが必要です。入学までに在留資格の申請や在留期間更新の手続きが必要な者は、「留学」ビザ取得・更新のために必要な書類をP.22～P.23で確認してください。なお、「留学」ビザが取得できなかった場合は、入学資格を失います。

<受験上および修学上の合理的配慮>

障がい等のため、受験上および修学上の配慮を必要とする方は、アドミッションセンターまでご連絡ください。

本学では、視覚・聴覚および肢体不自由等の障がいのある方が出願する場合は、必要に応じて入学後の学修体制の説明をおこなうための面談を実施しており、面談での内容をご了解いただいたうえで出願をお願いしています。

出願を希望する方は、2025年10月3日(金)までにアドミッションセンターへご連絡ください。期日後の申し出については、受験時の配慮ができない場合があります。

受験上の配慮に関する一般的な例 補聴器または人工内耳の装用、試験時間中の薬の服用、拡大文字問題冊子配付、チェック解答、点字解答、座席を試験室の出入口付近に設定、別室の設定など

■手続き方法

出願を希望する方は、期日までにアドミッションセンターへご連絡ください。面談を実施する場合は、日時を調整し、あらためてご連絡します。その後、「受験上の配慮申請書」を郵送しますので、医師の診断書等を添えて必要事項を記入のうえ、アドミッションセンターまでご返送ください。

■注意

- 日常生活において、補聴器、松葉杖、車椅子等を使用している方で、試験当日も同様に使用する場合は、試験場設定等の関係から配慮が必要となりますので、必ず申請してください。
- 出願後の不慮の事故などにより、受験時に配慮を必要とする場合も、速やかに問い合わせてください。

TEL(052)781-7084(直通) 平日/9:00～17:00

(土・日・祝日、7月25日、8月8日～8月18日は電話受付をしておりません)

4 事前の出願資格確認

出願を希望する者は、出願資格確認期間内（2025 年 10 月 3 日（金）必着）に必要な書類を提出し、出願資格の確認をおこなってください。確認をおこなっていない者は、出願することができません。

1. 出願資格確認手続き

出願資格確認期間内に、以下の書類をアドミッションセンターに「簡易書留」（封筒は任意）で郵送してください。

書類は、志願者本人が消えないインクの黒ボールペンで記入する。

提出書類		様式および記入上の注意	2 年次・3 年次 (一般)	2 年次・3 年次 (特別)	
				社会人	外国人 留学生
1	事前出願資格確認申請書(全員)	本学所定用紙(様式A)	●	●	●
2	大学、短期大学または高等専門学校卒業証明書(卒業見込証明書)および学業成績証明書	卒業見込証明書は、出願資格確認前 6 か月以内に発行されたもの	出願資格 1 2 5	出願資格 1 2 5	—
3	国家資格免許証のコピー (該当者のみ)	下記の国家資格を有する者は、国家資格免許証のコピーを提出する。 社会福祉専攻：社会福祉士・精神保健福祉士	●	●	●
4	出身大学の在学期間証明書 ※在学証明書ではない	出身大学発行のもの、または本学所定用紙(様式B)	出願資格 6	—	—
5	出身大学の学業成績証明書	出願時に 2 年次編入 30 単位、3 年次編入 60 単位を修得していない者は「単位修得見込証明書」も提出する。		—	—
6	出身大学の在学期間証明書および学業成績証明書	在学期間証明書は、出身大学発行のもの、または本学所定用紙(様式B)	—	出願資格 6	—
7	専修学校修了証明書(修了見込証明書)および学業成績証明書	修了見込証明書は、出願資格確認前 6 か月以内に発行されたもの	出願資格 3	出願資格 3	—
8	高等学校または中等教育学校卒業証明書	高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定の合格者は「合格成績証明書」			—
9	編入学試験受験資格証明書 〈専修学校専門課程修了(見込)者用〉	本学所定用紙(様式C)			—
10	高等学校専攻科修了証明書(修了見込証明書)および学業成績証明書	修了見込証明書は、出願資格確認前 6 か月以内に発行されたもの	出願資格 4	出願資格 4	—
11	編入学試験受験資格証明書 〈高等学校専攻科修了(見込)者用〉	本学所定用紙(様式D)			—
12	身上記録書	本学所定用紙(様式E)	出願資格 5	出願資格 5	—
13	履歴書・社会活動経歴書	本学所定用紙(様式F)	—	●	—
14	最終学校の修了証明書(修了見込証明書)および学業成績証明書	修了見込証明書は、出願資格確認前 6 か月以内に発行されたもの	—	—	●
15	最終学校の教育内容などを証明できるもののコピー	学則、カリキュラム、修業年限、授業時間数、授業科目、必要単位数等が明記されたもの	—	—	●
16	身上記録書・日本語学習経歴書	本学所定用紙(様式G)	—	—	●

(次ページに続く)

提出書類		様式および記入上の注意	2年次・3年次 (一般)	2年次・3年次 (特別)	
				社会人	外国人 留学生
17	日本語能力に関する書類のコピー	本学所定用紙(様式H) ・ 下記のいずれかをコピーし、本学所定用紙(様式H)に貼付のうえ、提出する。 ▶「日本語能力試験(JLPT)」N1 の日本語能力認定書のコピー ▶「日本留学試験(EJU)」の受験票(または成績確認書)のコピー ※出願後の変更はできません。 <注意事項> ▶「日本語能力試験(JLPT)」N1 の日本語能力認定書のコピーを提出する場合 ・ 本学より実施団体へ真偽確認の依頼をする場合があります。これに同意のうえ、提出してください。 ▶「日本留学試験(EJU)」の受験票(または成績確認書)のコピーを提出する場合 ・ 対象の日本留学試験は下記の通りです。 2024年度 第2回日本留学試験(2024年11月実施) 2025年度 第1回日本留学試験(2025年6月実施) ・ 「日本語」科目において読解、聴解・聴読解 250 点以上および記述 35 点以上であることを確認してください。 ・ 記載されている氏名と、その他の出願書類の氏名が一致していることを確認してください。 ・ 本学より実施団体へ成績請求をおこないます。	—	—	●
18	パスポートのコピー	・ コピーは A4 サイズとする。 ・ パスポート(写真が貼られているページ)をコピーし、提出する。	—	—	●
19	在留カードのコピー	・ コピーは A4 サイズとする。 ・ 両面をコピーし、提出すること。 ※所持者のみ。	—	—	●

〈提出書類についての注意〉

- ・ 日本語または英語で作成されたものを提出する。日本語・英語以外で記載されている場合は、翻訳証明(出身学校、公的機関、翻訳機関等で証明をうけたもの)を添付してください。
- ・ 原本が提出できない場合は、教育施設が原本から正しく複製されたことを証明した Certified True Copy を提出してください。
- ・ 提出された出願書類等は返還しません。
- ・ 証明書等の氏名が出願時と異なる場合は、改姓・改名の事項が記載された公的証明書(戸籍抄本等)の原本を提出してください。

2. 郵送先

〒464-8671 名古屋市千種区桜が丘 23

愛知淑徳大学 アドミッションセンター

『編入学試験 事前出願資格確認申請書 在中』

※出願資格確認期間内(2025 年 10 月 3 日(金)必着)に、郵便局窓口から「簡易書留」で郵送してください。

3. 出願資格確認結果および「学科・専攻の連絡事項」について

出願資格確認結果については、全員に郵送で通知します。出願資格が認められた者には、「愛知淑徳大学 出願資格認定書」および「学科・専攻からの連絡事項」を同封します。

4. 学科・専攻からの出願における注意事項について

出願に際して、学科・専攻からの注意事項は次のとおりです。

免許・資格取得について

<全学部共通>

免許・資格を取得するための科目の履修については、編入生を特別に考慮することはありません。授業時間割の都合で履修できず単位を修得できないことがあり得るため、卒業までに必ず免許・資格が取得できるとは限りません。

学科・専攻からの出願における注意事項

<文学部 国文学科>

ゼミの選択が2年次後期におこなわれるため、3年次に編入される方は選択可能なゼミが限定される場合があります。

<教育学部 教育学科>

なし

<人間情報学部 人間情報学科 感性工学専攻>

2年次から専門科目の本格的な学修が始まり、2年次後期にゼミ配属がおこなわれるため、2年次からの編入を推奨します。

<人間情報学部 人間情報学科 データサイエンス専攻>

2年次から専門科目の本格的な学修が始まり、2年次後期にゼミ配属がおこなわれるため、2年次からの編入を推奨します。

<心理学部 心理学科>

本学科を志望する方には、2年次編入を推奨しています。心理学科では1・2年次に必修の専門科目が多く配置されており、さらに公認心理師受験資格を希望する場合は法定25科目を修める必要があるため、円滑な学修のためには2年次からの編入が最適です。また、3年次より開講されるゼミ（専門演習Ⅰ・Ⅱ：必修科目）は少人数制のため定員が設定されています。在学生は2年次後期にゼミ選択の機会が与えられ、2年次の終わりに所属ゼミが決定（内定）します。そのため、本学科に3年次より編入した場合、すでに定員が埋まっているゼミを選択することはできません。ゼミでは2年かけて卒業論文執筆に取り組みますが、その選択の幅を広げるためにも、2年次編入を推奨します。

<創造表現学部 創造表現学科 創作表現専攻>

2年次から専門科目の本格的な学修が始まり、ゼミが2年次後期から始まるため、2年次からの編入を推奨します。

<創造表現学部 創造表現学科 メディアプロデュース専攻>

2 年次から専門科目の基礎学習が本格的に始まります。また、3 年次から始まるゼミの選択のための講義や、選考が2 年次前期に実施されますので、2 年次からの編入を推奨します。3 年次に編入される方は、選択可能なゼミが限定される場合があります。

<建築学部 建築学科 建築・まちづくり専攻>

2 年次から演習系科目を含む専門科目の学修が本格的に始まること、また、3 年次から始まるゼミ選択が2 年次後期におこなわれることから、2 年次からの編入を推奨します。3 年次に編入される方は、ゼミの選択が制限される場合があります。

<建築学部 建築学科 住居・インテリアデザイン専攻>

2 年次から演習系科目を含む専門科目の学修が本格的に始まること、また、3 年次から始まるゼミ選択が2 年次後期におこなわれることから、2 年次からの編入を推奨します。3 年次に編入される方は、ゼミの選択が制限される場合があります。

<健康医療科学部 スポーツ・健康医科学科 スポーツ・健康科学専攻>

2 年次から専門科目の本格的な学修が始まり、卒業研究（必修）のゼミ選択が2 年次後期におこなわれるため、2 年次からの編入を推奨します。3 年次に編入される方は、選択可能なゼミが限定される場合があります。

<食健康科学部 食創造科学科>

2 年次から専門科目の本格的な学修が始まり、ゼミ選択が2 年次前期におこなわれるため、2 年次からの編入を推奨します。

<福祉貢献学部 福祉貢献学科 社会福祉専攻>

社会福祉士国家試験受験資格は取得可能ですが、通常の入学生においては、2 年次以降の実習のため1 年次から専門科目の修得が必要となっています。3 年次編入では困難です。2 年次からの編入を推奨します（3 年間で受験資格の取得を保証するものではありません）。また編入学による精神保健福祉士国家試験受験資格の取得は、カリキュラムの編成上できません。

なお、社会福祉士及び精神保健福祉士養成校からの編入学者の場合、指定科目の読み替えは、読み替え条件が満たされている場合のみ可能となります。養成校で修得したものをそのまま読み替えられるものではありません。

<交流文化学部 交流文化学科 ランゲージ専攻>

1 年次後期にゼミを選択し、2 年次前期よりゼミが始まるため、2 年次からの編入を推奨します。

<ビジネス学部 ビジネス学科>

2 年次から専門科目の本格的な学修が始まり、ゼミナールが2 年次前期から開始されるため、2 年次からの編入を推奨します。

<グローバル・コミュニケーション学部 グローバル・コミュニケーション学科>

本学科への編入を希望する方には2 年次編入を強く推奨しています。これは、ゼミ（必修）が2 年次から始まること、2 年次前期後半に実施される6～8 週間の海外留学プログラム「Study Abroad」（必修）に参加しなければならないこと、本学科には必修科目や選択必修科目が多いこと、TOEIC スコアに基づく履修制限が設けられていることなどによります。3 年次編入をした場合には、2 年間での卒業が極めて困難になるため推奨していません。

5 出願書類

書類は、消えないインクの黒ボールペンで記入する。

提出書類		様式および記入上の注意	2年次・3年次 (一般)	2年次・3年次 (特別)	
				社 会 人	外国人留学生
1	インターネット出願 確認票	出願登録完了後、A4サイズで印刷する(P.14「インターネット出願」参照)	●	●	●
2	志望理由書	本学所定用紙（様式 I） ・ 志望する学科・専攻への志望理由と入学後の目標、 大学生活への抱負などについて、1 枚目に箇条書き にし、2 枚目に 600 字以内の文章でまとめる（日本語 で記入する）。	●	●	●
3	身元保証書	本学所定用紙（様式 J）	—	—	●
4	出願資格認定書のコピー	—	●	●	●

6 入学検定料

25,000円

7 インターネット出願

出願の流れ ※詳細は次ページ以降を参照してください。

1. 事前準備

- ☐ パソコン環境の準備
- ☐ プリンターの準備
- ☐ メールアドレスの準備
- ☐ 証明写真(顔写真)データの準備
- ☐ 角形2号封筒の準備
- ☐ 出願書類の準備

2. マイページの作成

インターネット出願システム

2025年8月26日(火) 9:00より入力可能

- ☐ メールアドレスの登録
- ☐ 個人情報の登録
- ☐ 証明写真(顔写真)の登録

3. 出願登録

インターネット出願システム

出願初日9:00より入力可能

- ☐ 入試方式、出願学科・専攻等の登録

4. 「インターネット出願確認票」等の印刷

インターネット出願システム

- ☐ インターネット出願確認票の印刷
- ☐ 宛名ラベルの印刷

5. 入学検定料の納入

インターネット出願システム

- ☐ 入学検定料の納入

この段階では出願はまだ完了していません

6. 出願書類の郵送

- ☐ 出願書類・封筒をそろえる
- ☐ 郵便局窓口から「速達・簡易書留」で郵送

出願手続完了

7. 受験票の取得

インターネット出願システム

- ☐ インターネット出願システム(マイページ)から取得する
 - 受験票は郵送されません。
 - 試験当日は、必ず印刷した受験票を持参してください。

インターネット出願システム

詳細はインターネット出願システムのガイダンスページを参照してください。
ガイダンスページ：<https://www.guide.52school.com/guidance/net-aasa>



2025年8月26日(火)9:00から公開予定です。

マイページ内の「STEP3 出願登録」以降は出願初日9:00から手続きが可能になります。

1. 事前準備

(1) パソコン環境の準備

インターネット出願には、インターネットに接続されたパソコン、スマートフォン、タブレット端末等が必要となります。インターネット出願システムのガイダンスページで推奨環境を確認してください。

(2) プリンターの準備

出願にあたって、A4用紙で「インターネット出願確認票」「宛名ラベル」「受験票」を受験者自身で印刷する必要があります。ご使用のパソコンにプリンターが接続されていることを確認してください。自宅にプリンターがない場合は、学校や知人、コンビニエンスストアのプリントサービス等、PDFファイルを印刷できる環境を確認しておいてください。

(3) メールアドレスの準備

マイページの作成にはメールアドレスが必要となります。また、出願の登録確認、入学検定料の入金確認の通知等はすべてメールにて送信されます。必ず受信可能な個人用メールアドレスを準備しておいてください。ドメイン指定受信を設定している場合、「@52school.com」「@asu.aasa.ac.jp」を受信できるよう設定してください。1つのメールアドレスで、複数人の利用はできません。また、受験者1人に対して、必ず1つのメールアドレスを使用してください。

(4) 証明写真(顔写真)データの準備

証明写真(顔写真)は試験当日の本人確認用として使用し、入学後の学生証用写真としても卒業まで使用します。以下の条件を満たす顔写真データ(データ形式: JPEG(拡張子はjpg)、100KB以上、5MB以下)を準備してください。なお、iOS(iPhone等)から登録する場合、「HEIF/HEIC形式(拡張子heif/heic)」でも登録が可能です。証明写真機(写真データのダウンロードや取得ができるもの)、スマートフォンやタブレット端末のカメラ機能、デジタルカメラ等を使用して撮影したものでも構いません。

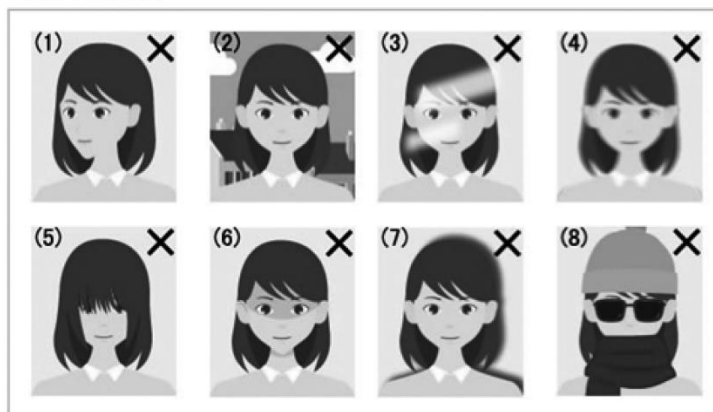
2026年度入試において、すでにインターネット出願登録が完了した証明写真は、変更することはできません。

- ①直近3カ月以内に撮影したもの
- ②カラーのみ可(白黒不可)
- ③上半身・正面、無帽、背景無地(白/青/グレーを基調)、枠なし
- ④本人のみが写っていること
- ⑤私服であること(高等学校等の制服不可)

【適切な写真の例】



【不適切な写真の例】



- (1)正面を向いていない(顔が横向き等)
- (2)無背景でない(風景や柄が写っている)
- (3)照明が反射している(顔や眼鏡に光が反射していて一部が見えない)
- (4)ピンボケや手振れにより不鮮明
- (5)前髪が長すぎて目元が見えない
- (6)顔に影がある
- (7)背景に影が写っている
- (8)マフラーやスカーフで輪郭が隠れている

(5)角形2号封筒の準備

出願書類を郵送するために必要です。角形2号サイズ(240mm×332mm)の封筒を準備してください。

(6)出願書類の準備

出願に必要な書類は入試方式により異なりますので、各入試方式の出願書類を確認し、該当する書類を準備してください。

2. マイページの作成 (2025年8月26日 (火) 9:00より入力可能)

下記URL(インターネット出願システムガイダンス)からマイページを作成してログインし、「STEP2 個人情報の登録と確認」より個人情報の登録と証明写真(顔写真)の登録をおこなってください。

<https://www.guide.52school.com/guidance/net-aasa>



※大学WEBサイトからもアクセスできます。

3. 出願登録 (出願初日9:00より入力可能)

下記URL(インターネット出願システムガイダンス)からマイページにログインし、「STEP3 出願登録」より出願登録してください。画面の案内に従って、出願する入試方式、学科・専攻等を選択してください。

<https://www.guide.52school.com/guidance/net-aasa>



※大学WEBサイトからもアクセスできます。

4. 「インターネット出願確認票」等の印刷

出願登録完了後、「インターネット出願確認票」および「宛名ラベル」を印刷(カラー・白黒どちらでも可)し、登録した内容および正しく印刷されていることを必ず確認してください。「インターネット出願確認票」は2部(出願用・本人保管用)印刷し、「宛名ラベル」は出願書類を封入する封筒に貼付してください。

注意

例年、入学検定料納入後、志望学科・専攻等の入力ミスに気づく例があります。入学検定料納入後の入試方式、入試日、志望学科・専攻、科目、試験会場等の変更は一切認められませんので、入学検定料納入前に必ず確認してください。

5. 入学検定料の納入

マイページ「STEP3 出願登録」の登録完了画面より入学検定料のお支払いサイトへ移動後、下記からお支払い方法を選択し、入学検定料を納入してください。支払い完了後は「入学検定料の入金確認の通知」がメールで送信されますのでご確認ください。万が一、メールが届かない場合は出願締切日までに、愛知淑徳大学アドミッションセンターにご連絡ください。支払いの際に発行される領収書(レシート)、受領書またはご利用明細書は、出願書類として提出する必要はありません。大切に保管してください。なお、STEP3の画面を閉じてしまった後は、「STEP4 出願内容の確認」画面より入学検定料のお支払いサイトへ移動し、入学検定料を納入することができます。

<クレジットカード>

カードの名義は、受験者本人でなくても構いません。

出願登録後に別画面で「クレジットカード」支払を選択し、決済を完了してください。

※使用できるクレジットカードは「VISA」「MasterCard」「JCB」「AMERICAN EXPRESS」「Diners Club」のいずれかです。



<コンビニエンスストア>

支払いに必要なお支払い情報を取得後、印刷した「払込票」または各種番号の控えを持参し、以下のコンビニエンスストアで入学検定料を支払います。お支払い情報は、支払いをする際に必要となりますので、必ずメモをとるか印刷してください。

※お支払いは現金のみです。



レジで「インターネット代金支払」または「オンライン決済」であることを店員に伝え、請求内容を確認のうえ、支払ってください。

<銀行ATM(Pay-easy)> <ネットバンキング>



銀行ATMによる支払いは、Pay-easy(ペイジー)に対応した銀行のみで可能です。

ゆうちょ銀行ATM、ペイジー対応銀行のATMおよびネットバンキングがご利用いただけます。

※窓口での支払いはできません。

※コンビニエンスストアに設置されているATMは利用できません。

注意

- ・ 入学検定料の他にサービス利用料(一律990円)が必要となります。
- ・ 複数回に分けて出願登録(STEP3)をする場合は、サービス利用料が各回それぞれに必要となります。
- ・ いったん納入された入学検定料は、返還しません。ただし、「入学検定料を納入したが、出願書類を提出しなかった場合」「入学検定料を納入し出願書類を提出したが、出願が受理されなかった場合」「入学検定料を誤って過剰に納入した場合」に限り、入学検定料(サービス利用料を除く)を返還しますので、アドミッションセンターへ問い合わせてください。

6. 出願書類の郵送

出願書類を市販の角形2号サイズ(240mm×332mm)の封筒に入れ、出願登録完了後にマイページより印刷した「宛名ラベル」を封筒に貼付し、郵便局窓口から「速達・簡易書留」で出願期間内に郵送してください。

＜郵送先＞

〒464-8671 名古屋市千種区桜が丘23

愛知淑徳大学 アドミッションセンター

注意

- ・ 出願後(入学検定料納入後)の入試方式、入試日、志望学科・専攻、科目、試験会場等の変更は、いかなる理由があっても認めません。
- ・ いったん提出された出願書類は、返還しません。
- ・ 郵便局窓口で発行される書留の「受領書」は、必ず保管してください。

7. 受験票の取得

下記URLからマイページにログインし、「オンライン受験票」より受験票(PDF)を取得してください。受験票の郵送はしません。

<https://exam-entry.52school.com/aasa/my>



※大学WEBサイトからもアクセスできます。

＜取得開始日＞

2025年11月17日(月)10:00

※受験票は2026年4月24日(金)までの公開です。

＜受験票サンプル＞

A4判

【受験票】

- (1) 受験票の記載内容を確認し、A4サイズのコピー用紙に印刷のうえ、試験当日に必ず持参してください。
- (2) 受験票には裏面も含め、一切の書き込みを禁止します。

注意

出願後(入学検定料納入後)の入試方式、入試日、志望学科・専攻、科目、試験会場等の変更は、いかなる理由があっても認めません。

8 選抜方法・配点

【一般・特別（2年次・3年次）】 書類審査[20点]・小論文または専門科目試験[50点]・個人面接[30点]
面接では志望する学科・専攻のアドミッション・ポリシーが理解できているかについて問うことがあります。

学 部	学科・専攻		選 抜 方 法
文学部	国文学科		書類審査・専門科目試験・個人面接
教育学部	教育学科		書類審査・専門科目試験・個人面接
人間情報学部	人間情報学科	感性工学専攻	書類審査・専門科目試験・個人面接
		データサイエンス専攻	書類審査・専門科目試験・個人面接
心理学部	心理学科		書類審査・専門科目試験(心理学)・個人面接
創造表現学部	創造表現学科	創作表現専攻	書類審査・小論文・個人面接
		メディアプロデュース専攻	書類審査・小論文・個人面接
建築学部	建築学科	建築・まちづくり専攻	書類審査・専門科目試験・個人面接
		住居・インテリアデザイン専攻	書類審査・専門科目試験・個人面接
健康医療科学部	スポーツ・健康医科学科	スポーツ・健康科学専攻	書類審査・小論文・個人面接
食健康科学部	食創造科学科		書類審査・小論文・個人面接
福祉貢献学部	福祉貢献学科	社会福祉専攻	書類審査・小論文・個人面接
交流文化学部	交流文化学科	ランゲージ専攻	書類審査・小論文・個人面接
ビジネス学部	ビジネス学科		書類審査・専門科目試験・個人面接
グローバル・コミュニケーション学部	グローバル・コミュニケーション学科		書類審査・専門科目試験・個人面接(英語での質問を含む)

※教育学科、建築・まちづくり専攻、住居・インテリアデザイン専攻は2年次（一般・特別）のみ実施します。

9 受験上の注意

1. 試験会場

星が丘キャンパス（P. 21 参照）

- ・2025年11月28日（金）の15:00から17:00まで試験会場の下見が可能です。ただし、試験室への入室はできません。
- ・試験会場へは、試験当日および前日の下見の際も、公共交通機関を利用してください。送迎を含め、車での来校は固くお断りします。

2. 試験時間割

入室完了時刻	小論文または専門科目試験	休憩	入室	面接
12:40	13:00～14:00	14:00～14:20	14:20	14:30～

3. 試験当日の注意

(1) 入退場について

- ①試験会場は12:00から入場することができます。
- ②12:40までに試験室に入室・着席してください。遅刻した場合は、試験開始後20分以内であれば受験できますので、速やかに入室してください。ただし、試験時間は延長しません。
- ③試験開始後の途中退室は認めていません。
- ④携帯電話などは、試験室に入る前に電源を切って、かばんの中に入れてください。
- ⑤試験会場へは、公共交通機関を利用してください。
- ⑥付添の方は、試験会場（キャンパス内）に入ることはできません。

(2) 所持品について

- ①受験票：インターネット出願システム（マイページ）から取得し、A4サイズのコピー用紙に印刷したものを必ず持参してください。
- ②受験上の注意：P.19～P.20の「受験上の注意」は印刷して持参するなど、試験当日も確認できるようにしてください。
- ③時計：試験室には時計がありませんので、各自持参してください。
- ④筆記用具等：詳細は下表を参照してください。

使用できるもの	使用できないもの
・受験票 ・HBの黒鉛筆（英文や和歌・格言などが書かれていないもの） ・鉛筆キャップ ・シャープペンシルと替えの芯 ・消しゴム ・鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類を除く） ・時計 〔辞書や電卓、端末機能があるもの・それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマーや学習タイマー・大型のものを除く〕 ・眼鏡、目薬 ・ハンカチ、ティッシュペーパー（袋から中身だけ取り出したもの）	・電卓 ・定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む） ・コンパス ・携帯電話 ・スマートフォン ・ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等） ・タブレット端末 ・電子辞書 ・ICレコーダー ・電動式鉛筆削り ・下敷き ・耳栓、イヤホン、ヘッドホン
＜監督者の許可を得てから使用するもの＞ ・座布団、クッション ・ひざ掛け（コートをひざ掛けとして使用する場合も含む）	

※上履きは必要ありません。

(3) 解答上の注意

- ①解答用紙には、受験番号、氏名を必ず記入してください。
- ②問題用紙、解答用紙に落丁・乱丁、印刷不鮮明等の不備がある場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。

(4) 試験時間中の注意

- ①試験時間中は、監督者の指示に従ってください。従わない場合は退室させることがあります。
- ②原則として、試験終了まで退室は認めません。体調不良、トイレ等やむを得ない場合は、手を挙げてください。途中退室しても、試験時間の延長はありません。
- ③試験時間中に日常的な生活騒音（監督者の巡回による足音・試験監督業務上必要な打合せ、航空機・自動車・風雨・空調の音、周囲の受験者のせき・くしゃみ・鼻をすする音、携帯電話や時計の短時間の鳴動、照明の点滅、周囲の建物のチャイム音など）が発生した場合でも、時間延長等の救済措置はございません。
- ④英文字や地図等がプリントされている衣服は着用しないでください。

(5) その他の注意

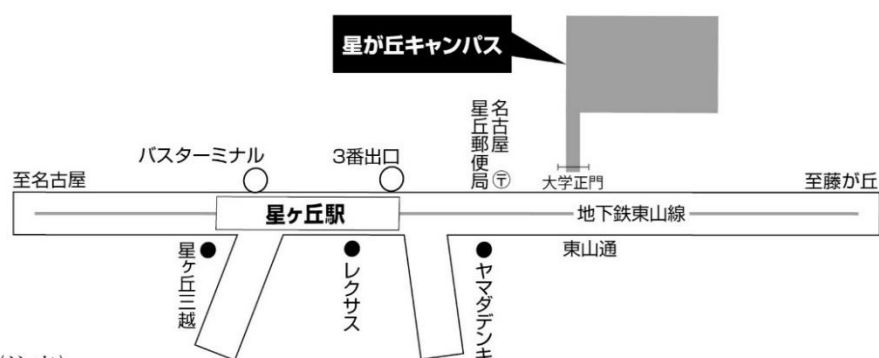
試験当日、試験室の換気のための窓の開放等をおこなう時間帯があります。各自で防寒のために上着などを持参してください。

〈学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項〉

試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、麻疹、水疱瘡など）に罹患して治癒していない場合は、他の受験者や監督者等への感染のおそれがあるため、受験できません。なお、上記により試験を欠席した場合でも、追試験や再試験等の措置、および入学検定料の返還はございません。試験当日の体調管理には十分に注意してください。

10 試験会場（星が丘キャンパス）案内

地下鉄東山線「星ヶ丘駅」3番出口より徒歩約3分



星が丘キャンパス
名古屋市千種区桜が丘23
TEL (052) 781-1151 (代表)

〈注意〉

- ・試験会場に駐車スペースはありませんので、公共交通機関でお越しください。また、近隣の方の迷惑となりますので、送迎を含め、車での来校は固くお断りします。
- ・試験当日は、スクールバスおよびキャンパス間の連絡バスは運行しません。

11 合格発表（インターネットによる合否照会）

1. 合否結果は、合格発表当日の午前 10 時から、インターネット出願システムのマイページ内「合否結果」から確認してください。ログインする際、マイページログイン用「メールアドレス」「パスワード」が必要となります。
2. 本学での掲示発表や郵送による合格通知はおこないません。
3. 合格した場合、インターネット出願システムのマイページ内「合格通知書/振込依頼票/入学手続要項の印刷」から必要書類を印刷してください（P. 22 **12** 入学手続参照）。
4. 合否結果に関する問い合わせには、応じません。

マイページログインURL

<https://exam-entry.52school.com/aasa/my>



※大学WEBサイトからもアクセスできます。

※マイページ内「合否結果」から合否を確認してください。

〈合否照会可能期間〉

2025年12月9日（火）10：00 ～ 12月15日（月）23：59

注意

- ・合否照会開始直後は混み合うため、つながりにくい場合があります。
- ・合否照会の「誤操作」「見間違い」などを理由とした、入学手続締切日後の入学手続は認めません。

12 入学手続

入学手続は、「入学手続時納入金の納入」および「学生個票等の入力」「入学手続書類の提出」によって完了します。入学手続を所定の期間内に完了しない方は、入学の意思のないものとみなし、入学を認めません。「学生個票等の入力」「入学手続書類の提出」については、3月初旬発送予定の「新入生のしおり」でご案内します。

〈入学手続時納入金の納入〉

マイページより「振込依頼票」を印刷し、「入学手続要項」で詳細を確認のうえ、所定の期日までに入学手続時納入金を納入してください。期日までに手続きをおこなわなかった場合は、入学資格を失います。

※第2次手続は、第1次手続を完了した者のみおこなうことができます。

下記 URL からマイページにログインし、「合格通知書／振込依頼票／入学手続要項の印刷」から印刷をしてください。

<https://exam-entry.52school.com/aasa/my>



※大学WEBサイトからもアクセスできます。

〈印刷可能期間〉

2025年12月9日（火）10：00 ～ 2026年3月31日（火）23：59

1. 本学から合格通知書、振込依頼票、入学手続要項の郵送はおこないません。今後の手続きについては、入学手続要項と3月初旬発送予定の「新入生のしおり」でご確認ください。
2. 所定の期日までに入学手続が完了しない場合は入学資格を失います。
3. 合格者であっても、「誤操作」「見間違い」「未確認」などを理由とした締切日後の入学手続は認めません。
4. 入学金を除く授業料、教育充実費、その他徴収金については、指定の用紙に必要事項を記入したうえで 2026年3月31日（火）＜必着＞までに入学辞退の申し出があった場合に限り返還します。
※入学手続完了後の入学辞退に関する必要事項は、「入学手続要項」で確認してください。
5. 入学しない場合でも納入された入学金（第1次納入金）は返還しません。
6. 卒業（修了）見込み、出願資格単位修得見込みの者が、2026年3月31日までに卒業（修了）、出願資格単位修得できなかった場合は、入学資格を失います。

●外国人の合格者へ

入学時には「留学」ビザが必要です（ただし、すでに「永住者」「日本人の配偶者等」「永住者の配偶者等」「定住者」などの有効な在留資格を持っている方は除きます）。新規で「留学」の在留資格申請が必要な方や、入学までに在留期間更新の手続きが必要な方は、可否結果を確認後、本学国際交流センターにご連絡ください。

なお、「留学」ビザの手続きが必要な方は、以下のとおり入学手続時納入金を納入してください。

入学手続時納入金 締切日	2025年12月16日（火）〔一括納入〕
--------------	----------------------

＜留学ビザ更新等のために入学許可書が必要な外国人留学生の方へ＞

外国人留学生の合格者で留学ビザ更新等のために入学許可書の発行を希望される方は、下記の書類を本学国際交流センター宛に郵送してください。

1. 第1次および第2次入学手続時納入金の振込金受領書のコピー
2. 誓約書（合格発表日以降、2種類の誓約書をお渡しします）
3. 卒業証明書または修了証明書（出願時に見込証明書で出願された方）

4. パスポートのコピー（写真が貼られているページと過去に日本入国歴がある場合は入国時の在留資格と在留期間がわかるページ）
5. 在留カードのコピー（表と裏の両面） ＊所持者のみ

<「留学」ビザの取得が新たに必要な外国人留学生の方へ>

外国人留学生の合格者で新たに「留学」ビザの取得を必要とする方は、入学手続き書類の他に以下の書類を本学国際交流センター宛に郵送していただくことになりますので、あらかじめお知らせします。

1. 証明写真データ
2. 日本に在留するのに必要な経費支弁能力を証明する文書
3. パスポートのコピー（写真が貼られているページと過去に日本入国歴がある場合は入国時の在留資格と在留期間がわかるページ）
4. 第1次および第2次入学手続き納入金の振込金受領書のコピー
5. 誓約書（合格発表日以降、2種類の誓約書をお渡しします）
6. 卒業証明書または修了証明書（出願時に見込証明書で出願された方）

上記以外に、以下の書類を追加で提出していただくことがありますので、あらかじめ用意しておいてください。

- ・戸口簿（常住人口登記票）の写し
- ・最終学歴の証明書
- ・経費支弁者の課税証明
- ・経費支弁者の源泉徴収票
- ・経費支弁者の確定申告書（控え）の写し

※「留学」ビザが取得できなかった場合は、入学資格を失います。

- ・詳しくは「入学手続き要項」にて確認してください。

【本件に関する問い合わせ先】

愛知淑徳大学 国際交流センター

TEL (052) 783-1590（直通） FAX (052) 783-1578 e-mail : asugladm@asu.aasa.ac.jp

13 編入の単位認定と履修

1. 本学入学前に修得した単位の認定は、入学後におこないます。
2. 大学、短期大学、高等専門学校、高等学校専攻科(学校教育法施行規則第100条の2第1項の基準を満たすもの)、または専修学校(学校教育法施行規則第186条第1項の基準を満たすもの)において修得した単位は、専門教育科目等併せて60単位を上限として修得した単位として認定します。
3. 専門教育科目等については修得科目の状況に応じて個別認定をします。専門教育科目として個別認定されなかった科目の単位は包括認定します。包括認定とは、修得した科目を、すべて一括して本学の全学共通履修科目の単位として認定することです。したがって、認定されなかった科目については規程や指示にしたがい履修することになります。下級学年に配置された科目を履修することもあります。
4. 編入学は出身学科を問いませんが、修得科目が本学の各学科・専攻の科目と著しく異なる場合は読み替えが困難です。そのため、入学後は相当数の科目の履修が必要になり、なおかつ履修登録単位数の上限設定があるため、卒業までに修業年以上の年数を要する可能性もあります。

14 成績開示

入学試験の成績については、受験者本人から請求があった場合に開示します。成績開示を希望する受験者は、以下の要領で申し込んでください。

1. 開示請求受付期間

2026 年 4 月 1 日(水)～4 月 24 日(金) 締切日消印有効

2. 申請者

受験者本人に限ります(代理人による申請は不可)。

3. 開示内容

受験科目または評価項目ごとの得点、総得点、満点値

4. 提出書類

(1) 入学試験成績開示請求書：大学 WEB サイトより、3 月下旬からダウンロードできます。

(2) 受験票：紛失した場合は、改めて下記 URL からマイページにログインし、受験票を印刷してください。

<https://exam-entry.52school.com/aasa/my>



(3) 開示書送付料：郵便定額小為替 500 円分(「指定受取人」欄の記入は不要)

(4) 住民票の写し：送付先の住所が出願時の住所と異なる場合のみ、送付先が記載された住民票を提出してください。送付先の確認をします。

5. 申し込み方法

< 郵送の場合 >

「簡易書留」でアドミッションセンター宛に郵送してください(封筒に「入学試験成績開示請求」と朱書きする)。

< 持参の場合 >

アドミッションセンターに提出してください(受付：平日/9:00～17:00)。

6. 開示方法

「簡易書留」にて入学試験成績開示請求書記載の住所に「入学試験成績開示書」を郵送します(5月中旬予定)。

提出した受験票は、成績開示書とともに返却します。

7. 書類の郵送先・問い合わせ先

愛知淑徳大学 アドミッションセンター

〒464-8671 名古屋市千種区桜が丘 23 TEL (052) 781-7084 (直通)

15 学納金

<2 年次編入>

(単位：円)

学部 学科・専攻		入学手続時納入金					後期（10月）納入金				初年度納入金	
		第1次 納入金	第2次納入金				計	後期授業料	後期教育充実費	後期後援会費		計
			入学金	前期授業料	前期教育充実費	後援会入会金						
文学部		200,000	380,000	185,000	5,000	5,000	775,000	380,000	185,000	5,000	570,000	1,345,000
教育学部		200,000	380,000	210,000	5,000	5,000	800,000	380,000	210,000	5,000	595,000	1,395,000
人間情報学部		200,000	380,000	210,000	5,000	5,000	800,000	380,000	210,000	5,000	595,000	1,395,000
心理学部		200,000	380,000	210,000	5,000	5,000	800,000	380,000	210,000	5,000	595,000	1,395,000
創造表現学部		200,000	380,000	185,000	5,000	5,000	775,000	380,000	185,000	5,000	570,000	1,345,000
建築学部		200,000	390,000	250,000	5,000	5,000	850,000	390,000	250,000	5,000	645,000	1,495,000
学健康 部医 療科	スポーツ・健康 医科学科 スポーツ・健康 科学専攻	200,000	380,000	210,000	5,000	5,000	800,000	380,000	210,000	5,000	595,000	1,395,000
食健康科学部		200,000	400,000	255,000	5,000	5,000	865,000	400,000	255,000	5,000	660,000	1,525,000
福祉貢献学部		200,000	380,000	210,000	5,000	5,000	800,000	380,000	210,000	5,000	595,000	1,395,000
交流文化学部		200,000	380,000	185,000	5,000	5,000	775,000	380,000	185,000	5,000	570,000	1,345,000
ビジネス学部		200,000	380,000	185,000	5,000	5,000	775,000	380,000	185,000	5,000	570,000	1,345,000
グローバル・ コミュニケーション学部		200,000	430,000	185,000	5,000	5,000	825,000	430,000	185,000	5,000	620,000	1,445,000

- ・上記以外に、入学手続金納入時に学生教育研究災害傷害保険（入学者全員加入）の3年間分の保険料として2,100円（予定）、ただし健康医療科学部・食健康科学部・福祉貢献学部は2,150円（予定）を一括徴収します。
- ・後援会は、全員加入です。後援会に代わり、大学が入会金および会費を一旦徴収します。3年次以降は会費のみで、年間10,000円になります。

高等教育の修学支援新制度について

本学は、高等教育の修学支援新制度の対象機関です。同制度による授業料等減免対象者（採用候補者）であっても、入学手続期間内に入学金および授業料等の納入が必要です。なお、入学後所定の手続きをとることにより、区分に応じた減免額を還付します。

外国人留学生の授業料減免について

入学後、「愛知淑徳大学私費外国人留学生授業料減免に関する規程」に基づく選考により、外国人留学生の授業料を30%を限度として減免する制度があります。

< 3 年次編入 >

(単位：円)

学部 学科・専攻		入学手続時納入金					後期（10 月）納入金				初年度納入金	
		第 1 次 納入金	第 2 次納入金				計	後期授業料	後期教育充実費	後期後援会費		計
		入学金	前期授業料	前期教育充実費	後援会入会金	前期後援会費						
文学部		200,000	380,000	185,000	5,000	5,000	775,000	380,000	185,000	5,000	570,000	1,345,000
人間情報学部		200,000	380,000	210,000	5,000	5,000	800,000	380,000	210,000	5,000	595,000	1,395,000
心理学部		200,000	380,000	210,000	5,000	5,000	800,000	380,000	210,000	5,000	595,000	1,395,000
創造表現学部		200,000	380,000	185,000	5,000	5,000	775,000	380,000	185,000	5,000	570,000	1,345,000
健康科学部 医療	スポーツ・健康医科学科 スポーツ・健康科学専攻	200,000	380,000	210,000	5,000	5,000	800,000	380,000	210,000	5,000	595,000	1,395,000
食健康科学部		200,000	400,000	255,000	5,000	5,000	865,000	400,000	255,000	5,000	660,000	1,525,000
福祉貢献学部		200,000	380,000	210,000	5,000	5,000	800,000	380,000	210,000	5,000	595,000	1,395,000
交流文化学部		200,000	380,000	185,000	5,000	5,000	775,000	380,000	185,000	5,000	570,000	1,345,000
ビジネス学部		200,000	380,000	185,000	5,000	5,000	775,000	380,000	185,000	5,000	570,000	1,345,000
グローバル・コミュニケーション学部		200,000	430,000	185,000	5,000	5,000	825,000	430,000	185,000	5,000	620,000	1,445,000

- ・ 上記以外に、入学手続金納入時に学生教育研究災害傷害保険(入学者全員加入)の 2 年間分の保険料として 1,400 円(予定)、ただし健康医療科学部・福祉貢献学部は 1,440 円(予定)を一括徴収します。
- ・ 後援会、全員加入です。後援会に代わり、大学が入会金および会費を一旦徴収します。4 年次以降は会費のみで、年間 10,000 円になります。

高等教育の修学支援新制度について

本学は、高等教育の修学支援新制度の対象機関です。同制度による授業料等減免対象者(採用候補者)であっても、入学手続期間内に入学金および授業料等の納入が必要です。なお、入学後所定の手続きをとることにより、区分に応じた減免額を還付します。

外国人留学生の授業料減免について

入学後、「愛知淑徳大学私費外国人留学生授業料減免に関する規程」に基づく選考により、外国人留学生の授業料を30%を限度として減免する制度があります。

在学中に別途徴収する実験実習費の概算、および学科必須の留学等費用の概算は、以下のとおりです。
 なお、金額は変更になる場合があります。

〈実験実習費（2025年度参考）〉

種類	実験実習費	対象学生
教育実習（小学校）	5,400 円	小学校の教員免許状取得を希望する学生
教育実習（中高）	5,000 円	中学校・高等学校の教員免許状取得を希望する学生
教育実習（特別支援）	5,400 円	特別支援学校の教員免許状取得を希望する学生
介護等体験実習	13,300 円	介護等体験・介護実践演習を履修する学生
博物館実習	17,000 円	学芸員課程科目の博物館実習を履修する学生
図書館実習	3,000 円	司書課程科目の図書館実習を履修する学生
オンライン検索実習	7,000 円	司書資格の取得を希望する学生
公認心理師実習 (集団抗体検査費用を含む)	23,500 円	心理学部 心理学科で公認心理師受験資格取得のため心理実習を希望する学生
食創造科学科実験実習	28,000 円～ 83,000 円	食健康科学部 食創造科学科の学生(食品衛生管理者、監視員の資格取得を希望する場合を含む)
社会福祉士実習	84,500 円	福祉貢献学部 福祉貢献学科 社会福祉専攻でソーシャルワーク実習を希望する学生

〈留学等費用（2025年度参考）〉 海外の場合、サーチャージや為替により変動することがあります。

学科	科目名	費用(自己負担額)
ビジネス学科	Bilingual Internship (3・4年次選択必修)	(国内) 200,000円～300,000円※
		(海外) 450,000円～750,000円※
グローバル・コミュニケーション学科	Study Abroad (2年次必修)	500,000円～990,000円※

※ 派遣先、留学先により、費用が異なります。

◆上記は、金額の参考として掲載しているものであって、必ず履修あるいは免許・資格の取得ができるというわけではありません。

16 奨学金

1 日本学生支援機構奨学金(2025年度)

日本学生支援機構奨学金には、貸与型と給付型があり、それぞれ定められた条件があります。

・貸与奨学金

貸与奨学金には「第一種(無利子貸与)」および「第二種(有利子貸与)」があります。

貸与奨学金の場合、卒業後20年以内(最長)に返還する義務があり、申込時には連帯保証人および保証人を立てる必要があります(機関保証制度を選択した場合は不要)。

種類	第一種(無利子貸与)	第二種(有利子貸与)
金額 (月額)	[自 宅 生] 2万円、3万円、4万円、5万4千円から選択 [自宅外生] 2万円、3万円、4万円、5万円、6万4千円から選択	2万円～12万円の中から1万円単位で選択

・給付奨学金・授業料等減免

給付奨学金は原則として返還義務のない奨学金です。世帯の所得金額に基づく区分(第I区分～第IV区分)に応じて支給金額が異なります。また、給付奨学金の対象者は、授業料等減免の手続きをおこなうことで、授業料等減免を同時に受けることができます。なお、本学では高等学校在学時に採用された方も入学手続期限までに入学金を含む入学手続時納入金を納入いただき、入学後所定の手続をとることにより、区分に応じた減免額を還付します。

区分	支給月額		授業料等減免
	自宅通学	自宅外通学	
第I区分	38,300円(42,500円)	75,800円	授業料減免上限額の70万円免除 入学金20万円免除(新入生のみ)
第II区分	25,600円(28,400円)	50,600円	第I区分の減免額の2/3
第III区分	12,800円(14,200円)	25,300円	第I区分の減免額の1/3
第IV区分 (多子世帯に限る)	9,600円(10,700円)	19,000円	第I区分の減免額の1/4

※自宅外通学の場合、自宅外通学であることの証明書類の提出が必要

※生活保護世帯で自宅から通学する人および児童養護施設等から通学する人は上表のカッコ内の金額

愛知淑徳大学は高等教育の修学支援新制度についての対象機関です。なお、人間情報学部人間情報学科、創造表現学部創造表現学科、建築学部建築学科は同制度理工農系学部・学科の対象です。

2 愛知淑徳大学独自の奨学金(2025年度)

奨励給付奨学金1	対象者	学部の3年生、4年生で特に学業成績優秀な者。		採用人数	各学科・専攻ごとに異なる(各学年次において2～4名)		給付額	年額10万円	
	成績条件	GPAと修得単位数の条件あり		選考基準	学部からの推薦による		備考	2年連続しての受給も可	
奨励給付奨学金2 (私費外国人留学生)	対象者	グローバル入試のうち、「外国人留学生(一般)」もしくは「外国人留学生(学校推薦)」で入学した外国人留学生							
	採用人数	各学年若干名			給付額	年額40万円	成績条件	修得単位数の条件あり	
	選考基準	支給条件に該当する資格を取得した者			備考	各支給対象資格に対し1回ずつ、在学中4回まで。			
特別給付奨学金1 (緊急支援)	対象者	学部生。主たる家計支持者の死亡、疾病、失業、破産(入学後に発生した事由を対象とし、申請時1年以内の事情に限る)により、経済的に就学が困難な者。							
	採用人数	若干名	給付額	年額50万円	成績条件	修得単位数の条件あり	備考	同事由に対しては、在学中1回とする。	
特別給付奨学金1 (災害支援)	対象者	学部生。主たる家計支持者の地震・風水害等の被災(入学後に発生した事由を対象とし、申請時1年以内の事情に限る)により、経済的に就学が困難な者。							
	採用人数	若干名	給付額	年額20万円	成績条件	修得単位数の条件あり	備考	同事由に対しては、在学中1回とする。	
特別給付奨学金2 (海外留学派遣)	対象者	交換留学生			採用人数	【渡航支援】交換留学生全員 【留学支援】若干名			
	給付額	【渡航支援】留学先により10万円～20万円 【留学支援】留学先国、留学期間により20万円～80万円				成績条件	【留学支援】交換留学等の留学生試験の成績優秀者		
愛知淑徳大学 同窓会奨学金 修学奨学金	対象者	学部の4年生							
	採用人数	各学科・専攻ごとに異なる(2～4名)				給付額	年額10万円		
	成績条件	4年次前期までの通算GPAが3.0以上であること。				備考	申請年度の3月に卒業する見込みで、愛知淑徳大学同窓会の活動を理解し、入会するものに限る。特別給付奨学金受給者も申請可。		
愛知淑徳大学 同窓会奨学金 留学生奨学金 (外国人留学生)	対象者	「留学」の在留資格を有する外国人留学生。学業成績および人物考課が特に優れている者。							
	採用人数	約20名					給付額	10万円	
	成績条件	学業成績、履修科目数・履修状況、学習態度、生活態度等も含め、総合的に評価する。					備考	在学中1回とする。他の奨学金(学外)との併願可。	

3 その他の奨学金

地方公共団体や民間団体による奨学金制度は、随時案内します。

国の教育ローン(日本政策金融公庫)

「国の教育ローン」コールセンター 0570-008656 ホームページ <https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html>

17 2025 年度 入試結果

- ・教育学科、建築・まちづくり専攻、住居・インテリアデザイン専攻は、2025 年度編入学試験を募集しておりません。
- ・食創造科学科は、2025 年度編入学試験(3 年次(一般)(特別))を募集しておりません。

【2 年次編入学（一般）】

学部	学科・専攻	募集人員	志願者	受験者	合格者
文学部	国文学科	若干名	0	0	0
人間情報学部	人間情報学科	感性工学専攻	若干名	1	1
		データサイエンス専攻	若干名	0	0
心理学部	心理学科	若干名	1	1	0
創造表現学部	創造表現学科	創作表現専攻	若干名	0	0
		メディアプロデュース専攻	若干名	0	0
健康医療科学部	スポーツ・健康医科学科	スポーツ・健康科学専攻	若干名	0	0
食健康科学部	食創造科学科	若干名	1	1	1
福祉貢献学部	福祉貢献学科	社会福祉専攻	若干名	0	0
交流文化学部	交流文化学科	ランゲージ専攻	若干名	1	1
		国際交流・観光専攻	若干名	0	0
ビジネス学部	ビジネス学科	若干名	0	0	0
グローバル・コミュニケーション学部	グローバル・コミュニケーション学科	若干名	0	0	0

【2 年次編入学（特別）】

学部	学科・専攻	募集人員	志願者	受験者	合格者
文学部	国文学科	若干名	0	0	0
人間情報学部	人間情報学科	感性工学専攻	若干名	0	0
		データサイエンス専攻	若干名	0	0
心理学部	心理学科	若干名	0	0	0
創造表現学部	創造表現学科	創作表現専攻	若干名	0	0
		メディアプロデュース専攻	若干名	0	0
健康医療科学部	スポーツ・健康医科学科	スポーツ・健康科学専攻	若干名	0	0
食健康科学部	食創造科学科	若干名	0	0	0
福祉貢献学部	福祉貢献学科	社会福祉専攻	若干名	0	0
交流文化学部	交流文化学科	ランゲージ専攻	若干名	0	0
		国際交流・観光専攻	若干名	0	0
ビジネス学部	ビジネス学科	若干名	0	0	0
グローバル・コミュニケーション学部	グローバル・コミュニケーション学科	若干名	0	0	0

【3 年次編入学（一般）】

学部	学科・専攻		募集人員	志願者	受験者	合格者
文学部	国文学科		若干名	0	0	0
人間情報学部	感性工学専攻		若干名	0	0	0
	データサイエンス専攻		若干名	0	0	0
心理学部	心理学科		若干名	0	0	0
創造表現学部	創造表現学科	創作表現専攻	若干名	0	0	0
		メディアプロデュース専攻	若干名	0	0	0
健康医療科学部	スポーツ・健康医科学科	スポーツ・健康科学専攻	若干名	0	0	0
福祉貢献学部	福祉貢献学科	社会福祉専攻	若干名	0	0	0
交流文化学部	交流文化学科	ランゲージ専攻	若干名	0	0	0
		国際交流・観光専攻	若干名	3	3	1
ビジネス学部	ビジネス学科		若干名	0	0	0
グローバル・コミュニケーション学部	グローバル・コミュニケーション学科		若干名	0	0	0

【3 年次編入学（特別）】

学部	学科・専攻		募集人員	志願者	受験者	合格者
文学部	国文学科		若干名	0	0	0
人間情報学部	感性工学専攻		若干名	0	0	0
	データサイエンス専攻		若干名	0	0	0
心理学部	心理学科		若干名	0	0	0
創造表現学部	創造表現学科	創作表現専攻	若干名	0	0	0
		メディアプロデュース専攻	若干名	0	0	0
健康医療科学部	スポーツ・健康医科学科	スポーツ・健康科学専攻	若干名	0	0	0
福祉貢献学部	福祉貢献学科	社会福祉専攻	若干名	0	0	0
交流文化学部	交流文化学科	ランゲージ専攻	若干名	0	0	0
		国際交流・観光専攻	若干名	0	0	0
ビジネス学部	ビジネス学科		若干名	0	0	0
グローバル・コミュニケーション学部	グローバル・コミュニケーション学科		若干名	0	0	0

18 過去の入試問題について

過去 3 年間分の入試問題を大学WEBサイトで公開しています。ただし、受験者がいなかった場合は、公開できません。閲覧にはパスワードが必要です。

URL : <https://www.aasa.ac.jp/examination/past.html>

パスワード : kakomon



不正行為の取り扱いについて

愛知淑徳大学では、入学試験を厳正に実施し、すべての受験者が公平・公正に受験できるよう、以下の注意事項を定めています。本学の受験に際しては、この注意事項を熟読のうえ、真剣な態度で試験に臨んでください。

1. 不正行為の取り扱いについて

不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、当日それ以降の受験はできなくなります。失格となり、受験したすべての教科・科目の成績を無効とします。その場合、入学検定料は返還しません。試験終了後に不正行為が発覚した場合も、同様に扱います。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

2. 次のことをすると不正行為となります。

- ①出願書類や解答用紙へ故意に虚偽の記入をすること。
- ②カンニング(試験時間中に試験の教科・科目に関するメモや参考書等を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わること等)をすること。
- ③他の受験者に答えを教えたり、カンニングの手助けをすること。
- ④試験時間中に問題冊子、解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- ⑤「解答はじめ」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
- ⑥試験時間中に使用が許可されていないもの(携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末(スマートウォッチやスマートグラス等)、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン・ヘッドホン等の電子機器類や耳栓、定規(定規の機能を備えた鉛筆等を含む)、コンパス、電卓、電動式鉛筆削り、下敷き)を使用すること。
- ⑦「解答やめ」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり、解答を続けること。
- ⑧面接試験・プレゼンテーション試験において試験前に、控室等で携帯電話等の電子機器類を使用すること。
- ⑨面接試験・プレゼンテーション試験において試験前に、すでに試験が終了した他の受験者から試験に関する内容を教えてもらうこと。
- ⑩面接試験・プレゼンテーション試験において試験後に、これから試験を受ける他の受験者に試験に関する内容を教えること。

3. 次のことをすると不正行為となる場合があります。

- ①試験時間中に、使用が許可されていないもの(携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末(スマートウォッチやスマートグラス等)、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン・ヘッドホン等の電子機器類や耳栓、定規(定規の機能を備えた鉛筆等を含む)、コンパス、電卓、電動式鉛筆削り、下敷き)をかばん等にしまわず、身に着けていたり手に持っていたりすること。
- ②試験時間中に、携帯電話や時計の音(着信・アラーム・振動音等)を長時間鳴らす等、試験の進行に影響を与えること。
- ③試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申し出をすること。
- ④面接試験・プレゼンテーション試験において試験前に、控室等で携帯電話等の電子機器類を身に着けていたり手に持っていたりすること。
- ⑤試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ⑥試験場において監督者等の指示に従わないこと。
- ⑦その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

入試に関する生成AI(ChatGPTなど)の取り扱いについて

入学者選抜において、出願時に提出する書類(「志望理由書」「課題レポート」「自己アピール書」など)については、生成AIによって作成されたものを受験者独自の成果物とはみなしません。よって、生成AIに関する指示がない限り、入学者選抜において受験者が生成AIを使用することは認めません。



◆キャンパスのご案内◆

星が丘キャンパス 〒464-8671 名古屋市千種区桜が丘 23

長久手キャンパス 〒480-1197 愛知県長久手市片平二丁目 9

◆問い合わせ先◆

愛知淑徳大学 アドミッションセンター(星が丘キャンパス)

TEL(052)781-7084(直通)

平日/9:00~17:00

※土・日・祝日、7月25日、8月8日~8月18日、12月25日~1月4日は電話受付をしておりません。

<https://www.aasa.ac.jp/>

●試験当日の問い合わせ先

星が丘キャンパス TEL(052)781-1151(代表)

愛知淑徳大学

2026年度編入学試験 様式(本学所定用紙)

<出願資格確認書類>

- | | | | |
|---|-------------|--|----|
| A | 事前出願資格確認申請書 | | 1枚 |
|---|-------------|--|----|
- | | | | |
|---|---------|--|----|
| B | 在学期間証明書 | | 1枚 |
|---|---------|--|----|
- | | | | |
|---|--------------------------------|--|----|
| C | 編入学試験受験資格証明書<専修学校専門課程修了(見込)者用> | | 1枚 |
|---|--------------------------------|--|----|
- | | | | |
|---|-------------------------------|--|----|
| D | 編入学試験受験資格証明書<高等学校専攻科修了(見込)者用> | | 1枚 |
|---|-------------------------------|--|----|
- | | | | |
|---|-------|--|----|
| E | 身上記録書 | | 1枚 |
|---|-------|--|----|
- | | | | |
|---|-------------|--|----|
| F | 履歴書・社会活動経歴書 | | 1枚 |
|---|-------------|--|----|
- | | | | |
|---|----------------|--|----|
| G | 身上記録書・日本語学習経歴書 | | 2枚 |
|---|----------------|--|----|
- | | | | |
|---|-----------------|--|----|
| H | 日本語能力に関する書類のコピー | | 1枚 |
|---|-----------------|--|----|

<出願書類>

- | | | | |
|---|-------|--|----|
| I | 志望理由書 | | 2枚 |
|---|-------|--|----|
- | | | | |
|---|-------|--|----|
| J | 身元保証書 | | 1枚 |
|---|-------|--|----|



2026年度 編入学試験

事前出願資格確認申請書

フリガナ	姓				名			
氏 名								
入試形態 ☑を入れる	☐ 2年次 一般 ☐ 2年次 特別（社会人） ☐ 2年次 特別（外国人留学生）				☐ 3年次 一般 ☐ 3年次 特別（社会人） ☐ 3年次 特別（外国人留学生）			
志望 学科・専攻 ○で囲む	国 文	教 育	感性工学	データ サイエンス	心 理	創作表現	メディア プロデュース	建築・ まちづくり
	住居・ インテリアデザイン	スポーツ・ 健康科学	食創造科学	社会福祉	ランゲージ	ビジネス	グローバル・ コミュニケーション	
住 所	〒 — —							
電話番号	— —			志願者の 携帯番号	— —			
メール アドレス	@							
生年月日 (西 暦)	年 月 日			性 別 ○で囲む	男 ・ 女			

<特別(外国人留学生)のみ記入>

国 籍		現在の 在留資格		在留期限	(西暦) 年 月 日
-----	--	-------------	--	------	---------------

志望理由（志望する学部・学科・専攻への志望理由を簡潔に記入してください）

在学期間証明書

氏 名	
生 年 月 日	(西暦) 年 月 日
学 部・学 科	
在 学 期 間	(西暦) 年 月 日 入学 年 月 日 現在 ____学年在学中
	休学期間 あり なし

上記を証明する。

(西暦) 年 月 日

大 学 名 _____

学 長 _____

印

2026年度 編入学試験
編入学試験受験資格証明書
＜専修学校専門課程修了（見込）者用＞

志望学部 _____ 学部

志望学科 _____ 学科

志望専攻

〔人間情報学科、創造表現学
科、建築学科、スポーツ・
健康医科学科、福祉貢献学
科、交流文化学科のみ記入〕

専攻 _____

志願者氏名 _____
(西暦) 年 月 日 生

専修学校名 _____

学 科 名 _____ 専門課程

入 学 (西暦) 年 月 日

修 了(見込) (西暦) 年 月 日

上記の者は、下記〔1. 1995年以降
2. 1994年以前〕に該当する者であることを証明します。
(○で囲む)

記

(1995年以降修了者)

1. 専門士の称号を付与された者（2026年3月までに付与される見込みの者を含む）。
専門士の称号付与条件
(1) 修業年限が2年以上であること。
(2) 課程の修了に必要な総授業時間が1,700時間以上であること。
(3) 試験により成績評価を行い、その評価に基づいて課程修了の認定を行っていること。

(1994年以前修了者)

2. 修業年限2年以上で、課程修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上である専修学校
を修了した者。

(西暦)

年 月 日

専修学校名 _____

学 校 長 _____

印



2026年度 編入学試験
編入学試験受験資格証明書
＜高等学校専攻科修了（見込）者用＞

志望学部 _____ 学部

志望学科 _____ 学科

志望専攻

〔人間情報学科、創造表現学
科、建築学科、スポーツ・
健康医科学科、福祉貢献学
科、交流文化学科のみ記入〕

専攻

志願者氏名 _____

(西暦) 年 月 日生

学 校 名 _____

専 攻 科 名 _____ 専攻科

入 学 (西暦) 年 月 日

修 了(見込) (西暦) 年 月 日

上記の者は、下記の事項に該当することを証明します。

記

高等学校の専攻科の課程（修業年限が2年以上であり、かつ、文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る）を修了した者または修了する見込みの者。

(西暦)

年 月 日

学 校 名 _____

学 校 長 _____



2026年度 編入学試験

身上記録書

フリガナ					生 年 月 日			
氏 名	男 ・ 女				(西暦) 年 月 日			
志望 学科・専攻 ○で囲む	国 文	教 育	感性工学	データ サイエンス	心 理	創作表現	メディア プロデュース	建築・ まちづくり
	住居・ インテリアデザイン	スポーツ・ 健康科学	食創造科学	社会福祉	ランゲージ	ビジネス	グローバル・ コミュニケーション	
現住所 (出願時)	〒 ー TEL () ー							
入学後 住所	〒 ー TEL () ー							
学 歴	種 別	学 校 名	所在地(国名・都市名)		在籍学年	入 学 ・ 卒 業 ・ 転 出 年 月		
	中 学 校					(西暦) 年 月 入学 年 月 卒業		
	高 等 学 校					(西暦) 年 月 入学 年 月 卒業		
短 期 大 学 大 学					(西暦) 年 月 入学 年 月 卒業			
そ の 他					(西暦) 年 月 入学 年 月 卒業			
特 技 ・ 資 格								

F

2026年度 編入学試験



履歷書・社会活動經歷書

フリガナ					生 年 月 日			
氏 名		男 ・ 女			(西暦) 年 月 日			
志望 学科・専攻 ○で囲む	国 文	教 育	感性工学	データサイエンス	心 理	創作表現	メディアプロデュース	建築・まちづくり
	住居・インテリアデザイン	スポーツ・健康科学	食創造科学	社会福祉	ランゲージ	ビジネス	グローバル・コミュニケーション	
学歴								
学 校 名		課 程	学 科	入 学		卒業・退学		
高等学校		全日制 定時制 通信制	普通科 その他	(西暦) 年 月		(西暦) 年 月		
高等学校卒業程度認定試験 ・ 大学入学資格検定						合 格 年 月 (西暦) 年 月		
学 校 名		学部・学科		入 学		卒業・修了・退学		
大 学 高等専門学校 短期大学 専修学校 高等学校専攻科				(西暦) 年 月		(西暦) 年 月		
職歴								
勤 務 先 名 称		職 務 内 容			就 職		退 職	
					(西暦) 年 月		(西暦) 年 月	
					年 月		年 月	
					年 月		年 月	
特技・資格								
名 称					認 定 団 体 名		取 得	
							(西暦) 年 月	
							年 月	
							年 月	
その他社会人としての活動								

2026年度 編入学試験

身上記録書・日本語学習経歴書

フリガナ						生 年 月 日			
氏 名						(西暦)			
	男 ・ 女					年 月 日			
志望 学科・専攻 ○で囲む	国 文	教 育	感性工学	データ サイエンス	心 理	創作表現	メディア プロデュース	建築・ まちづくり	
	住居・ インテリアデザイン	スポーツ・ 健康科学	食創造科学	社会福祉	ランゲージ	ビジネス	グローバル・ コミュニケーション		
現 住 所 (出願時)	〒 ー								
	TEL () ー								
入 学 後 住 所	〒 ー								
	TEL () ー								

学歴(小学校から現在までの順に入学・卒業のすべてを記入する)					
学校名	学校所在地	入学(転・編入学)	卒業・修了・退学 (見込みを含む)	在学期間	在籍学年 { 高1～高3 Y10～12など }
		(西暦) 年 月	(西暦) 年 月	年 カ月	
		年 月	年 月	年 カ月	
		年 月	年 月	年 カ月	
		年 月	年 月	年 カ月	
		年 月	年 月	年 カ月	
		年 月	年 月	年 カ月	
		年 月	年 月	年 カ月	
通算期間(予定も含む)				年 カ月	

フリガナ	姓	名
氏 名		

日 本 語 学 習 経 歴															
学習機関名	所 在 地			学 習 期 間											
資格・特技など ※該当箇所に☑した上で 必要事項に記入する	☐ 日本語能力試験(JLPT)			(西暦) 年 月 日 取得											
	N 1														
	☐ 日本留学試験(EJU) 「日本語」科目 ※該当する年度のいずれかに☑した上で受験番号を記入する。			☐ 2024年度 第2回(11月実施)		読解、聴解・聴読解		得 点		点					
						記述		得 点		点					
				☐ 2025年度 第1回(6月実施)		読解、聴解・聴読解		得 点		点					
						記述		得 点		点					
	受験番号				*					*					
☐ その他															



2026年度 編入学試験



日本語能力に関する書類のコピー貼付用紙

記入日	(西暦)
	年 月 日

私は、愛知淑徳大学より実施団体へ真偽確認や成績請求をすることに同意します。

出願者氏名	
-------	--

下記のいずれかをコピーし、貼付してください。

- 「日本語能力試験(JLPT)」N1の日本語能力認定書のコピー
 - 「日本留学試験(EJU)」の受験票（または成績確認書）のコピー
- ※出願後の変更はできません。

<注意事項>

- 「日本語能力試験(JLPT)」N1の日本語能力認定書のコピーを提出する場合
 - ・本学より実施団体へ真偽確認を依頼する場合があります。これに同意のうえ、提出してください。
- 「日本留学試験(EJU)」の受験票（または成績確認書）のコピーを提出する場合
 - ・対象の日本留学試験は下記のとおりです。
2024年度 第2回日本留学試験（2024年11月実施）
2025年度 第1回日本留学試験（2025年6月実施）
 - ・「日本語」科目において読解、聴解・聴読解250点以上および記述35点以上であることをか確認してください。
 - ・記載されている氏名と、その他の出願書類の氏名が一致していることを確認してください。
 - ・本学より実施団体へ成績請求をおこないます。

志望理由書

フリガナ	姓				名			
氏 名								
志望 学科・専攻 ○で囲む	国 文	教 育	感性工学	データ サイエンス	心 理	創作表現	メディア プロデュース	建築・ まちづくり
	住居・ インテリアデザイン	スポーツ・ 健康科学	食創造科学	社会福祉	ランゲージ	ビジネス	グローバル・ コミュニケーション	

●志望する学科・専攻への志望理由と入学後の目標、大学生活への抱負などについて、1枚目に簡条書きにし、2枚目に600字以内の文章でまとめる

※日本語・消えないインクの黒ボールペンで横書き

志望理由(簡条書き)

I

2 / 2

志望理由(文章)

フリガナ	姓	名
氏 名		

[illegible]

200

400

600



(西暦)
年 月 日

2026年度 編入学試験
身元保証書

愛 知 淑 徳 大 学

学長 五島 幸一 殿

このたび、下記の者が貴大学_____学部_____学科
_____専攻（人間情報学科、創造表現学科、建築学科、スポーツ・健康医科学科、
福祉貢献学科、交流文化学科のみ記入）

を受験するにあたり、入学を許可されましたうえは、本人に関するすべてのことならびに

- （1）貴大学在学中は日本国法令を堅く守ること
- （2）貴大学在学中は学則を守り、学業に専念すること
- （3）貴大学在学中の学費については所定の金額を納付すること

を保証することを誓約いたします。

(受験者)	氏 名	
	国 籍	
	入学後の住所 (予定住所)	〒
	保護者氏名	
	保護者現住所	〒 TEL () —

(保証人)	氏 名	⑩ 年齢 (歳)
	現 住 所	〒 TEL () —
	受験者との関係	

※保証人は保護者またはそれに準ずる人